

審査基準

大基準	中基準	小基準	審査の視点
組織	グループ	<input type="checkbox"/> 構成 <input type="checkbox"/> 新たな連携 <input type="checkbox"/> 姿勢と熱意	課題解決のために、適切な団体でグループを構成しているか 従来からある組み合わせではなく、新たな連携が生まれているか 課題解決に取り組む姿勢と熱意に共感できるか
	団体	<input type="checkbox"/> ノウハウの明確さ <input type="checkbox"/> ノウハウの裏付け <input type="checkbox"/> 情報発信	ノウハウの説明は、はっきりと理解しやすいものであるか 有効なノウハウを持つと認めるに足る経歴があるか 活動を広く知らせ、団体の信頼性を高めるための情報発信をしているか
目的	課題設定	<input type="checkbox"/> 課題への共感 <input type="checkbox"/> 社会的背景 <input type="checkbox"/> 高梁川流域圏の課題	解決しなければならないという点に共感できるか 設定した課題は社会的背景に合致しているか 設定した課題は高梁川流域圏で広くみられるものか
	公益性	<input type="checkbox"/> 受益者の範囲 <input type="checkbox"/> 受益者の人数 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ	利益を受ける範囲が限定的ではなく、不特定多数の住民に開かれているか 利益を受ける者の人数見込みは妥当といえるか 市民ニーズは事実にもとづいて分析されているか
計画	有効性	<input type="checkbox"/> ノウハウの受け継ぎ <input type="checkbox"/> ノウハウの持ち寄り <input type="checkbox"/> 課題解決の手段 <input type="checkbox"/> 実施回数	ノウハウを効果的に受け継げる内容であるか ノウハウの持ち寄りが、より高い成果を生み出すと見込める内容であるか 課題解決の手段として、的を射る内容であるか 活動の実施回数は十分確保されているか
	妥当性	<input type="checkbox"/> 課題と受益者 <input type="checkbox"/> 課題と成果 <input type="checkbox"/> 結果と成果の区別	課題に対する受益者の整合は取れているか 課題に対するアウトカム（成果）の整合は取れているか アウトプット（結果）とアウトカム（成果）は区別されているか
実現	実施体制	<input type="checkbox"/> 得意分野の発揮 <input type="checkbox"/> 専門スタッフの確保 <input type="checkbox"/> 事業遂行人数の確保	団体それぞれの得意分野を発揮できる体制であるか 事業遂行に必要な専門知識や専門技術を持ったスタッフを確保しているか 事業の規模や内容に対し、必要なスタッフ数を確保しているか
	継続可能性	<input type="checkbox"/> 完了後の実施主体 <input type="checkbox"/> 完了後の計画 <input type="checkbox"/> 完了後の資金	事業完了後に継続して取り組む団体の、実施能力は見込めるか 事業完了後に継続して取り組む計画は、実現できそうか 事業完了後に活動資金が支給されない中で、資金確保の手立はあるか
予算	予算設定	<input type="checkbox"/> 費用対効果 <input type="checkbox"/> 積算根拠 <input type="checkbox"/> 配分 <input type="checkbox"/> 受益者負担	過大な支出を抑えた、費用対効果の高い予算設定であるか 予算額の積算根拠が明確であるか 極端な偏りのない、バランスの取れた予算配分であるか 相応の受益者負担を設定しているか